

# 中部大会速報

17 石川県  
野々市明倫高校

## 詩人の人生を生きる

### 中也を包み込む雪

27日、野々市明倫高等学校

(石川県)が「私の上に降る雪」を上演。文学的で、その時代の背景を上手く表現した。上演後、キャスト、演出の方にインタビューした結果をまとめた。

### 細かな演出

同校は以前まで、学生生活を描いた脚本を上演してきた。今までにない、新しい劇をやりたいと思い、今回の脚本にした。さらに、「私の上に降る雪は」は、有名な作家である「中原中也」を題材にしたものであり、観客を驚か

せることができた。  
主人公、中原中也

キャストを大幅に変更した。中でも、「中原中也」役に関係するキャストを変更した。その結果、中原中也役の萩田が、新しいセリフを覚えるのが大変だった。表情が固くなったりと、様々な出来事が起こった。

中原中也を意識するため、キャストは、中原中也が実際に詠んだ詩を読んだり、いろいろなところから情報を仕入れたりするなど、中原中也を演じるために研究をした。

### 細かい舞台装置

舞台装置では、中原中也を題材にした映画を参考に作成。小道具に関しても、本物を使うなど、リアリティを追求した。

### 編集後記

「私の上に降る雪は」は、今大会ではなかなか見なかった、文学的な脚本であり、



時代を感じさせる大道具と小道具を駆使。

### 発行

第68回中部日本高等学校演劇大会生徒実行委員会 広報

2015年

12月27日

### 作品名

私の上に降る雪は



劇ラスト。中也が病気になるシーン。

大変さや、人間関係についても、学ぶことが多くあり、楽しめた。

### 感想カードより

8月の県大会とキャストが変わったので、違った劇を見ているようで良かった。中也の詩を勉強してから観劇すると、また一段と中也の世界に入り込めたと思う。舞台装置もパワーアップしていた。(匿名)

この劇はまさに本を読んでいるかのような。大正の時のセツトも能を彷彿とさせるかのようで、より一層雰囲気が出ていたように思う。声が聞き取りやすかった。(匿名)

私たちが平成から昭和初期の世界へ引き込んだ。非常に細かい大道具や小道具、音響や照明のおかげで、より一層時代の背景が伺え、社会の厳しさや、中原中也の性格がよく分かった。

さらに、各役の喋り方がとても印象的で、性格や考えがよく伝わった。その他にも、戦争の中で、詩を書くことの

大作家の報告を最速で伝えたい。今回、速報を速くするために、16名で速報を速くしたい。代表が御礼申し上げます。

(担当) 齋藤、前、香村、川江